第2期子ども・子育て支援事業計画の進捗について(令和5年度)

教育・保育の量の見込み及び提供体制の確保

○生駒市子ども・子育て支援事業計画における計画値と実績値

※各年度の数値は、5月1日時点の園児数を示す。

\							:	第1期計	画						
$ \rangle$		平	成27年	度			平	成28年	度			平成29年度			
\	1号	2.	号	3.	号	1号	2	号	3	号	1号	2	号	3.	号
\	3-5歳	3-5歳	3-5歳	0歳	1,2歳	3-5歳	3-5歳	3-5歳	0歳	1,2歳	3-5歳	3-5歳	3-5歳	0歳	1,2歳
	学校教育 のみ	幼児期の学 校教育の利 用希望が強 い		保育の 必要性あり	保育の 必要性あり	学校教育 のみ	幼児期の学 校教育の利 用希望が強 い	도로리가까	保育の 必要性あり	保育の 必要性あり	学校教育 のみ	幼児期の学 校教育の利 用希望が強 い	左記以外	保育の 必要性あり	保育の 必要性あり
計画値	2,037人	1,2 ⁷ 210人	75人 1,065人	282人	830人	2,050人	······································	34人 1,072人	281人	818人	2,056人	······································	86人 1,074人	281人	816人
実績値	2,0	50人	1,249人	109人	769人	1,9	45人	1,327人	158人	807人	1,88	<u>——</u> 5人	1,380人	134人	834人

						第1期	計画						第	2期計画	Į	
$ \rangle$			平	成30年	度			平成3	1/令和	元年度			令	和2年度	F Z	
$ \ $		1号	2.	号	3.	号	1号	2	号	3	号	1号	2	号	3.	号
\	\setminus	3-5歳	3-5歳	3-5歳	0歳	1,2歳	3-5歳	3-5歳	3-5歳	0歳	1,2歳	3-5歳	3-5歳	3-5歳	0歳	1,2歳
	\setminus		幼児期の学 校教育の利 用希望が強 い		保育の 必要性あり	保育の 必要性あり	学校教育 のみ	幼児期の学 校教育の利 用希望が強 い	左記以外	保育の 必要性あり	保育の 必要性あり	学校教育 のみ	幼児期の学 校教育の利 用希望が強 い	左記以外	保育の 必要性あり	保育の 必要性あり
計画		2,061人		90人 1,077人	278人	814人	2,039人		77人 1,066人	275人	809人	1,359人		96人 1,530人	227人	967人
実統		1,73	38人	1,406人	127人	847人	1,6	45人	1,416人	150人	804人	1,50	 8人	1,417人	142人	832人

\setminus								!	第2期計	画						
$ \rangle$			f	5和3年	芰			f	和4年原	芰		令和5年度				
$ \ $		1号	2.	号	3.	号	1号	2.	号	3.	号	1号	2	号	3.	号
$ \ $		3-5歳	3-5歳	3-5歳	0歳	1,2歳	3-5歳	3-5歳	3-5歳	0歳	1,2歳	3-5歳	3-5歳	3-5歳	0歳	1,2歳
\	\setminus	学校教育	幼児期の学 校教育の利 用希望が強 い	左記以外	保育の 必要性あり	保育の 必要性あり	学校教育 のみ	幼児期の学 校教育の利 用希望が強 い		保育の 必要性あり	保育の 必要性あり	学校教育 のみ	幼児期の学 校教育の利 用希望が強 い		保育の 必要性あり	保育の 必要性あり
計画値		1,290人	1,6 158人	11人 1,453人	223人	1,002人	1,228人		33人 1,383人	218人	995人	1,189人		84人 1,339人	213人	975人
実績値		1,2	75人	1,414人	140人	856人	1,10	67人	1,488人	125人	832人	1,02	4人	1,464人	122人	793人

		第	92期計画	画	
		ŕ	和6年原	芰	
$ \ $	1号	2-	号	3.	号
$ \ $	3-5歳	3-5歳	3-5歳	0歳	1,2歳
	学校教育 のみ	幼児期の学 校教育の利 用希望が強 い	左記以外	保育の 必要性あり	保育の 必要性あり
計画値	1,210人		l1人 1,363人	207人	952人
実績値		_			

生駒市内教育·保育提供施設	市立	私立
幼稚園	7園	4園
幼稚園型認定こども園	1園	-
幼保連携型認定こども園	-	8園
保育所	4園	6園
事業所内保育所	-	2園
小規模保育事業	-	8園

令和5年4月に小規模保育事業のサンライズキッズ保育園西松ケ丘園が開園し、3号の定員数が19人増となった。

- ※本保育園の周辺地域において、0~2歳児の保育ニーズが高まったことに対応し開設した。
- ※小規模保育事業所を整備したことで待機児童数は減少傾向にあるが、新たな保育ニーズが生まれる状況は継続している。
- ※保育士と空き店舗等の物件を確保することが課題である。

【事業1】利用者支援事業

子ども又はその保護者の身近な場所で、教育・保育施設や地域の子育て支援事業等の情報提供及び必要に応じて相談助言を 行うとともに、関係機関との連携調整等を行う。

基本型「みっきランド」

特定型「保育コンシェルジュ」

母子保健型「マタニティコンシェルジュ」

○生駒市子ども・子育て支援事業計画における計画値と実績値

			第1期計画			第2期計画						
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31/R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
計画値	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所	3か所	3か所	3か所	3か所	3か所		
実績値	1か所	2か所	2か所	2か所	3か所	3か所	3か所	3か所	3か所	3か所		

○実績(令和5年度)

令和元年5月7日から幼保こども園課に保育コンシェルジュを配置し、基本型及び母子保健型に加え、3ヶ所での実施となり、令和5年度も3ヶ所で実施した。

保育コンシェルジュは市内保育所で勤務経験のある保育士等が担っており、入所希望家庭の事情に合った相談業務を充実させ、きめ細かな保育所の入所案内等を行い、偏りがちな入所希望先の均衡を図っている。

なお、令和5年度の相談件数は、362件であった。

【事業2】地域子育T支援拠点事業

乳幼児及びその保護者が交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う。

○生駒市子ども・子育て支援事業計画における計画値と実績値

				第1期計画			第2期計画						
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31/R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
計画	利用人数	50,885人	50,294人	50,182人	49,942人	49,591人	46,136人	47,035人	46,466人	45,457人	44,337人		
値	実施か 所	4か所	5か所	5か所	5か所	6か所	10か所	10か所	10か所	10か所	10か所		
実績	利用人数	32,874人	38,466人	37,172人	43,925人	34,684人	26,104人	23,868人	29,917人	33,833人			
値	実施か 所	4か所	5か所	7か所	8か所	10か所	10か所	10か所	10か所	10か所			

○実績(令和5年度)

みっきランド・はばたきみっきについては、新型コロナウイルス感染対策(令和 5 年 5 月以降は安全・衛生面への配慮)のため、午前・午後の入れ替え制、かつ定員制で事業を実施した。

<定員>

令和3年度:みっきランド30名、はばたきみっき8名(段階的に定員を増やしていった)、令和4年度:みっきランド35名、はばたきみっき10名、令和5年度~:みっきランド45名、はばたきみっき10名

<現在の実施か所(10か所)>

No	施設名
1	みっきランド
2	はばたきみっき
3	てくてく(いこま乳児保育園)
4	ほっと♡スマイル(生駒ピュアこども園)
5	ちどりであそぼ(いちぶちどり保育園)
6	集いの森(もり保育園)
7	うみのいえ(うみ保育園)
8	COCOテラス(たかやまこども園)
9	すくすく(あいづ生駒保育園)
10	こもれびひろば(あいづ壱分保育園)

【事業3】妊婦健康診査

妊婦の健康状態の把握や検査、保健指導の実施、必要に応じた医学的検査を実施する。 妊婦健康診査は(上限) 1 4 回まで助成を行っている。

○生駒市子ども・子育て支援事業計画における計画値と実績値

				第1期計画	İ			Ŝ	第2期計画		
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31/R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	妊娠届 出者数	968件	970件	972件	974件	976件	798件	780件	760件	739件	718件
値	健康診 查利用 延人数	11,972人	11,987人	12,002人	12,017人	12,032人	9,174人	8,835人	8,508人	8,193人	7,890人
実績	妊娠届 出者数	902件	868件	859件	798件	737件	683件	651件	642件	600件	
値	健康診 査利用 延人数	6,835人	10,920人	9,884人	9,892人	9,151人	8,254人	8,150人	8,053人	7,496人	

○実績(令和5年度)

妊娠届出者数の計画値と実績値の乖離は、計画値(0歳児人口の推計値)よりも実際の出生数が少なかったことが要因である。妊娠届出 (母子手帳交付)時に助産師・保健師などの専門職が全ての妊婦さんと面接し、心配ごとの相談やケアプランの案内を行っている。また、ニーズに応じてサポート事業を紹介したり、担当部署や専門機関へ繋いだりするなど、連携しながら安心・安全な出産、子育てへとつながるようお手伝いしている。

【事業4】乳児家庭全戸訪問事業(こんにちは赤ちゃん事業)

生後4か月までの乳児のいる全ての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や養育環境等の把握を行う。

○生駒市子ども・子育て支援事業計画における計画値と実績値

			第1期計画			第2期計画						
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31/R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
計画値	980件	975件	975件	965件	954件	812件	798件	780件	760件	739件		
実績値	881件	818件	824件	801件	737件	632件	596件	645件	554件			

○実績(令和5年度)

妊娠届出者数が計画を下回ったため、実績値も計画値より下回った。

対象者の98.8% (訪問未実施は、転出・里帰り先で訪問・訪問拒否等)を訪問し、赤ちゃんの成長を保護者の方と一緒に確認するとともに、子育ての相談を受けたり、子育てに関する情報をお知らせしたりした。

【事業5】養育支援訪問事業

虐待予防の一環として養育支援が特に必要であると判断した家庭を訪問し、養育に関する助言や家事支援を行う。

○生駒市子ども・子育て支援事業計画における計画値と実績値

※第2期生駒市子ども・子育て支援事業計画では、訪問家庭数単位に変更

				第1期計画				Ŝ	第2期計画		
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31/R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
計画	延訪問 件数	430件	450件	470件	490件	510件	1	1	ı	ı	-
値	訪問家 庭数	-	-	-	-	-	30件	30件	30件	30件	30件
実績	延訪問 件数	207件	113件	210件	238件	187件	-	-	-	-	
値	訪問家庭数	20件	24件	33件	30件	33件	32件	23件	14件	17件	

○実績(令和5年度)

訪問家庭数は17件(延べ121回訪問)であり、支援が必要な家庭に対し、保護者が安心して子育てができるよう支援や助言を実施した。

【事業6】子育て短期支援事業

保護者の疾病等の理由により家庭で養育を受けることが一時的に困難となった児童について、児童養護施設等で児童を預かる 事業

○生駒市子ども・子育て支援事業計画における計画値と実績値

			第1期計画			第2期計画						
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31/R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
計画値	196日	195日	195日	195日	194日	124日	124日	124日	124日	124日		
実績値	41日	36⊟	62日	157日	85日	53⊟	56日	32日	73日			

○実績(令和5年度)

愛染寮、いこま乳児院、いかるが園(斑鳩町)の3園において事業を実施し、様々な理由で養育を受けることが一時的に困難となった児童の安心・安全を確保した。

※新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年~5年度にかけては、利用が少ない傾向にあった。

【事業7】ファミリー・サポート・センター事業

仕事や急な用事等でこどもの世話が一時的にできない子育て中の人の育児支援のため、育児の援助を受けたい人と援助をしたい人をコーディネートし、子育てを支えあう事業

○生駒市子ども・子育て支援事業計画における計画値と実績値

		第1期計画					第2期計画					
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31/R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
計画値	小学生	960人	960人	960人	960人	960人	1,071人	1,093人	1,114人	1,137人	1,159人	
実績値	小学生	1,317人	1,284人	1,447人	1,062人	704人	526人	676人	628人	808人		

○実績(令和5年度)

11月から新事業「たっちの短時間預かり」を実施したことで、活動件数が伸び、依頼会員(育児の援助を受けたい人)・援助会員(援助をしたい人)共に増加した。

【各会員数】

依頼会員:725人(R4:647人) 援助会員:185人(R4:160人) 両方会員:41人(R4:41人) ※計画値及び実績値は小学生の保護者の利用推移であるが、上記会員数には乳幼児のみの保護者数も含む。

【事業8】一時預かり事業

家庭において保育を受けることが一時的に困難となった乳幼児を幼稚園・認定こども園・保育所等で一時的に預かる事業

○生駒市子ども・子育て支援事業計画における計画値と実績値

				第1期計画			第2期計画					
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31/R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
計画値	幼稚園型	71,349人	71,818人	72,001人	72,205人	71,430人	15,497人	14,714人	14,007人	13,558人	13,802人	
	幼稚園 型を 除く	17,458人	17,236人	17,193人	17,103人	16,986人	15,004人	14,980人	14,645人	14,284人	14,101人	
実績値	幼稚園 型	6,884人	14,207人	15,766人	14,609人	14,574人	10,656人	14,148人	19,866人	25,936人		
	幼稚園 型を 除く	6,749人	5,621人	6,653人	6,795人	6,108人	3,737人	2,988人	3,921人	4,164人		

○実績(令和5年度)

【幼稚園型】市内の公立幼稚園・こども園の全園(8園)で預かり保育を実施

【幼稚園型以外】市内の私立認定こども園・保育所の10園で事業を実施

認定こども園生駒幼稚園、南こども園に加え、公立幼稚園 6 園で長期休業中の預かり保育を実施した。また、令和 5 年 9 月から預かり保育終了時間を17時に延長した(8月までは16時30分終了)。

令和3年4月からたかやまこども園でも一時預かり事業を開始する。

令和4年度から冬休み・春休みの預かり保育を全園で実施(夏休みの預かり保育は令和3年度から)。令和5年9月から預かり保育を17時までに延長したため、実績値が大きくなったと考えられる。

(参考) 平成27年度から平成31年/令和元年度の計画値と実績値の乖離については、計画値はニーズ調査の設問において保護者の利用希望の総数からの算出のため、実際には利用が必要となる状況にならなかった、一時預かり以外の方法(日常的に祖父母等に面倒を見てもらう等)で対応されたため実績値が低くなったものと思われる。

【事業9】延長保育事業

保育認定を受けた子どもについて、通常の利用日及び利用時間以外で、普段利用している園において保育を行う

○生駒市子ども・子育て支援事業計画における計画値と実績値

			第1期計画			第2期計画					
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31/R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
計画値	931人	929人	929人	929人	920人	1,690人	1,657人	1,605人	1,562人	1,558人	
実績値	-	1,431人	1,098人	1,330人	1,372人	996人	1,220人	1,228人	1,339人		

○実績(令和5年度)

希望者全員が利用できている。ただし、満1歳児以上児のみ利用可能。

【事業10】病児保育事業

児童の急な病気や病気の回復期にあり、集団保育が困難な期間に一時的に病院・保育所等に付設された専用スペース等に おいて保育を行う

【病児型】【病後児対応型】

病気や病気からの回復期の児童について、病院・保育所等に付設された専用スペース等において看護師等が一時的に保育をする事業

【体調不良児対応型】

保育中に微熱を出すなど体調不良となった児童を保護者が迎えに来るまでの間、一時的に保育する事業

○生駒市子ども・子育て支援事業計画における計画値と実績値

			第1期計画			第2期計画					
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31/R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
計画値	2,036人	2,032人	2,033人	2,031人	2,013人	2,491人	2,443人	2,367人	2,302人	2,297人	
実績値	1,577人	1,741人	1,733人	1,766人	2,076人	1,515人	2,513人	2,901人	3,670人		

[※]一部年度について、実績値に誤りがあったため修正

○実績(令和5年度)

新型コロナウイルスが第 5 類に引き下げられたことに伴い、同ウイルス流行時に制限していた預かり基準を従前に戻したことにより利用者が増加した。

<現在の実施か所>

病児型	病後児対応型	体調不良児対応型
阪奈中央病児保育園	生駒市病後児保育室	たかやまこども園
たけつな小児科クリニック病児保	(いこまこども園内)	はな保育園
育室バンビ		生駒ピュアこども園
		学研まゆみ保育園
		うみ保育園
		ソフィア東生駒こども園
		いちぶちどり保育園
		もり保育園

【事業11】放課後児童クラブ(放課後児童健全育成事業)

保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、授業の終了後に小学校の余裕教室等を利用して適切な遊び及び生活の場を与え、その健全な育成を図る事業

○生駒市子ども・子育て支援事業計画における計画値と実績値

				第1期計画			第2期計画					
		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31/R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
≣±īæī	合計	1,444人	1,449人	1,448人	1,434人	1,435人	1,809人	1,752人	1,719人	1,676人	1,581人	
計画値	低学年	874人	866人	859人	855人	861人	1,263人	1,218人	1,189人	1,144人	1,075人	
	高学年	570人	583人	589人	579人	574人	546人	534人	530人	532人	506人	
	合計	1,248人	1,355人	1,463人	1,532人	1,613人	1,780人	1,695人	1,735人	1,792人		
実績	1年生	307人	346人	389人	365人	427人	426人	401人	442人	439人		
値 ※公設	2年生	312人	305人	342人	378人	340人	408人	426人	395人	439人		
民営の	3年生	250人	268人	270人	295人	328人	325人	307人	355人	338人		
学童保	4年生	182人	206人	208人	219人	246人	281人	251人	258人	296人		
育施設のみ	5年生	123人	135人	159人	165人	149人	192人	190人	158人	182人		
130,	6年生	74人	95人	95人	110人	123人	98人	120人	127人	98人		
学童施設	公設 民営	22か所	23か所	23か所	26か所	27か所	27か所	27か所	27か所	27か所		
数	民設 民営	5か所	5か所	5か所	5か所	6か所	6か所	6か所	7か所	7か所		

○実績(令和5年度)

希望者全員が利用できるように、学校の教室を借用し、分散保育を行うための環境を整えた。

【事業12】実費徴収に係る補足給付を行う事業

保護者の世帯所得等の状況等を勘案して、教育・保育給付認定保護者に対して、特定教育・保育施設等に支払うべき日用品、文房具等の購入に要する費用又は行事への参加に要する費用等の補助、また施設等利用給付認定保護者に対して、副食材料費を補助する事業

※見込み量と確保量(確保策)を作成する事業の対象外

○生駒市子ども・子育て支援事業計画における計画値と実績値

- ※平成28年度から事業実施(施設等利用給付認定保護者に対する補助は令和2年度から実施)
- ※令和元年度まで、教育・保育給付認定保護者に対して、先述の費用に加え副食材料費の補助も実施

			第1期	明計画		第2期計画					
		H28年度	H29年度	H30年度	H31/R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
実績値	副食材	-	-	-	1人	26人	27人	24人	34人		
	料費	-	-	-	15,000円	394,778円	562,386円	545,972円	831,629円		
	教材·行	6人	6人	9人	9人	7人	7人	1人	3人		
	事費等	143,619円	73,351円	72,515円	110,298円	114,850円	86,354円	21,955円	20,800円		

○実績(令和5年度)

副食材料費については32世帯34人に対して、教材・行事費等については2世帯3人に対して補助を行った。 ※対象世帯の児童に対して、月額2,500円を上限に、対象となる費用の実費を支給。

【事業13】多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業

多様な事業者の能力を活用するため、新規参入施設等の事業者に対し、巡回支援等の支援を行い、地域ニーズに即した保育等の事業の拡大を図る。

特別な支援が必要な子どもの受け入れに対して、職員の加配に必要な費用の補助を行い、子どもの状況に応じた適切な教育・保育の拡大を図る。

※見込み量と確保量(確保策)を作成する事業の対象外

○実績(令和5年度)

指導主事、管理栄養士、保育コンシェルジュによる巡回支援を行った。また全園を対象に、私立保育園保健担当者会議を開催した。